

年度	2026 年度
試験日	2025 年 12 月 21 日
研究科	会計研究科
課程	専門職学位課程
専攻・コース等	会計専攻
入試制度	一般入試
試験科目	専門科目

出題意図 及び 解答例（解答のポイント）

【注意事項】

※お問い合わせいただいた内容は本学で確認し、必要がある場合には、入学センターWeb サイトに掲載いたします。個別に回答することはいたしません。

※お問い合わせ先：早稲田大学入学センター nyusi@list.waseda.jp

■出題意図

【財務会計】財務会計領域（簿記を含む）において必要な専門知識と応用力を問う。

【管理会計】管理会計領域（原価計算を含む）において必要な専門知識と応用力を問う。

【確率・統計】確率および統計領域において必要な専門知識と応用力を問う。

【数学一般、および会計・経済の基礎】数学一般、および会計・経済の基礎領域において必要な専門知識と応用力を問う。

■解答例（解答のポイント）

■解答例

過去の出題パターンの暗記など、表面的な学習に偏ることを避けるため、解答例は示さない。

■解答（評価）のポイント

【財務会計】財務諸表の作成・表示、連結および企業結合、収益認識、金融商品、リース、退職給付などの主要論点を題材に、幅広い実践的な専門知識と応用力を有し、かつ論理的な文章を思考・構成する能力を有していること。

【管理会計】原価計算（原価計算基準、費目別計算・部門別計算・製品別計算など）および管理会計（管理会計の基礎概念、短期利益計画、事業部の業績評価、設備投資の意思決定など）の主要論点を題材に、幅広い実践的な専門知識と応用力を有し、かつ論理的な文章を思考・構成する能力を有していること。

【確率・統計】確率（確率の法則、確率分布とその性質、確率変数のモーメント・母関数・変換・合成）および統計（標本調査と標本分布、推定量とその性質、区間推定、仮説検定）の主要論点を題材に、専門知識と計算能力および応用力を有し、かつ論理的な解答（計算プロセスを含む）が書けていること。

【数学一般、および会計・経済の基礎】解析学（部分積分や凸関数の性質）と線形代数学（行列の固有値やトレース）といった数理的基礎、ならびに発生主義と現金主義の違いやキャッシュ・フロー計算書の意義といった会計学の基礎論点、情報の非対称性や金融政策の波及プロセスといった経済学の基礎論点、サイバーリスクなどの実務的課題を題材に、専門知識・計算能力・応用力を有し、かつ論理的な解答（数式展開・計算プロセス・文章）が書けていること。